

教育福祉常任委員会次第

日時；令和2年5月21日（木）

午前9時30分～

場所；第1委員会室

1. 開 会

2. 議 題 閉会中の継続調査（所管事務調査）について
「移動が困難な町民の生活を支える仕組み」

3. 閉 会

教育福祉常任委員会報告（骨子）

継続調査事項「移動が困難な町民の生活を支える仕組み」

① 3月定例会以降の調査研究会の開催状況

- ・ 3月27日、4月27日、5月13日の開催
- ・ 委員会は5月21日開催

予定していた4月13日の調査研究会は中止とした。

- ① コロナ感染防止対策のため、現地視察は中止とし、4月27日、5月13日の調査研究会はオンライン開催とした。
- ② 次の点について、各委員から報告があり、理解を深めた。
有償福祉運送事業については、担い手の確保・育成、車両の確保が課題となっていること。
総合事業 移動支援D型 の導入については、支える組織作りを含めて考えるべき。
地域で違いはあるものの、2層・3層の協議体活動への支援も含めて町行政が主体性を持つことが重要。
条例での移動支援の位置づけは弱く、健康づくり条例との関連を盛り込むこと。
自力移動を支える広義のバリアフリー化が重要であること。
現在だけではなく、5年・10年後の状況も勘案すること。
- ③ 町に対する提言の概要について協議し、現在の素案に至った。

コロナ感染防止のため、聴取が難しい状況が続いているが、11月の委員会改選前の9月議会で提言を採択するよう、6月議会で継続調査項目として提案する。

以上